



2026年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年11月10日

上場会社名 株式会社 きちりホールディングス
コード番号 3082 URL <https://www.kichiri.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO兼COO (氏名) 平川 昌紀
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO (氏名) 葛原 昭
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 06-6262-3456

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第1四半期の連結業績(2025年7月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第1四半期	4,158	14.3	264	124.5	249	123.0	148	118.4
2025年6月期第1四半期	3,638	11.5	117	29.9	111	561.9	67	—

(注) 包括利益 2026年6月期第1四半期 139百万円 (88.4%) 2025年6月期第1四半期 74百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第1四半期	13.11	12.08
2025年6月期第1四半期	5.99	5.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第1四半期	7,446	2,190	27.3
2025年6月期	7,091	2,106	27.5

(参考) 自己資本 2026年6月期第1四半期 2,035百万円 2025年6月期 1,951百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	2.50	—	5.00	7.50
2026年6月期	—				
2026年6月期(予想)		2.50	—	5.00	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 6月期の連結業績予想(2025年 7月 1日～2026年 6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,600	13.1	500	8.2	480	6.7	270	5.8	23.89
通期	17,000	12.9	750	28.9	700	26.6	350	12.7	30.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年6月期1Q	11,324,600 株	2025年6月期	11,324,600 株
2026年6月期1Q	24,923 株	2025年6月期	24,923 株
2026年6月期1Q	11,299,677 株	2025年6月期1Q	11,324,577 株

期末自己株式数

期中平均株式数 (四半期累計)

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進展したものの、実質GDPはマイナス成長に転じ、成長が停滞しました。これは、対外情勢の不確実性による輸出の低迷や、一部の需要項目における反動減などが影響しました。しかしながら、名目GDPは物価高を背景に拡大を継続しました。一方で、先行きが懸念される対外情勢に加え、円安の進行による輸入物価の上昇、高止まりする物価による個人消費への下押し圧力など懸念材料も多く、景気の先行きは依然として不透明なまま推移いたしました。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間における売上高は、4,158百万円（前年同期比14.3%増）、営業利益264百万円（前年同期比124.5%増）、経常利益249百万円（前年同期比123.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益148百万円（前年同期比118.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

①飲食事業

当飲食業界におきましても、経済活動の正常化に伴う消費者の外出需要の増加に加え、インバウンド需要もあり回復の傾向が続いております。一方で、人材不足や食材費等の価格高騰は厳しさを増しており、事業環境は引き続き厳しい状況です。

このような状況の中、当社グループは、KICHIRI業態・いしがまやハンバーグ業態・韓国料理業態等、あらゆる立地に対応した様々な業態を保有しており、トレンドを的確に捉える高い業態開発力を持っています。また、従業員一人ひとりが、当社グループの企業理念である「大好きがいっぱい」を表現し、当社グループ独自の“おもてなし”を提供することで競合他社との差別化を図ってまいります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,914百万円（前年同期比9.8%増）、営業利益は123百万円（前年同期比1.4%減）となりました。

②DXコンサルティング事業

DXコンサルティング事業については、当社がこれまで培ってきたプロデュース力やコンサルティング力を活かして多種多様な分野におけるブランドホルダーとのコラボレーションを実現することで新たな顧客価値を創造し、また人々の働き方やライフスタイルの変化から生まれる様々な課題を新しいテクノロジーによって解決するDXについても積極的に推進しております。このように事業を複数展開する中、DXコンサルティング事業で培ったノウハウが、日本全体の活力向上を目指す地方創生に寄与できると考え、2023年4月より、地方創生事業を行っております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は243百万円（前年同期比232.4%増）、営業利益は141百万円（前年同期は営業損失6百万円）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は7,446百万円となり、前連結会計年度末と比較して355百万円増加しております。

流動資産合計は3,528百万円となり、前連結会計年度末と比較して158百万円増加しております。増加の主な要因は、未収入金が307百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産合計は3,918百万円となり、前連結会計年度末と比較して196百万円増加しております。増加の主な要因は、有形固定資産が207百万円増加したこと等によるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は5,256百万円となり、前連結会計年度末と比較して271百万円増加しております。

流動負債合計は2,797百万円となり、前連結会計年度末と比較して223百万円増加しております。増加の主な要因は、未払金が276百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債合計は2,459百万円となり、前連結会計年度末と比較して47百万円増加しております。増加の主な要因は、長期借入金が46百万円増加したこと等によるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,190百万円となり、前連結会計年度末と比べ83百万円増加しております。配当により56百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を148百万円計上したことで利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期及び第2四半期（累計）の連結業績予想につきましては、2025年8月8日公表の「2025年6月期決算短信」に記載のとおり、業績予想は修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,125,550	1,823,278
売掛金	562,371	727,968
原材料及び貯蔵品	122,570	126,905
未収入金	143,702	451,516
その他	415,657	398,540
流動資産合計	3,369,852	3,528,208
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,687,176	1,787,281
その他（純額）	482,293	589,599
有形固定資産合計	2,169,470	2,376,881
無形固定資産		
のれん	23,908	20,727
その他	34,374	29,681
無形固定資産合計	58,283	50,408
投資その他の資産		
投資有価証券	103,579	103,579
差入保証金	1,010,727	1,028,118
繰延税金資産	270,646	251,025
関係会社長期貸付金	100,000	100,000
その他	10,086	9,499
貸倒引当金	△886	△886
投資その他の資産合計	1,494,153	1,491,337
固定資産合計	3,721,907	3,918,627
資産合計	7,091,760	7,446,835
負債の部		
流動負債		
買掛金	388,720	399,828
1年内返済予定の長期借入金	734,295	786,796
未払金	488,276	764,910
未払法人税等	172,094	78,674
賞与引当金	—	37,428
株主優待引当金	40,698	29,977
その他	749,286	699,721
流動負債合計	2,573,371	2,797,338
固定負債		
長期借入金	2,256,732	2,303,590
資産除去債務	150,857	150,883
その他	4,286	4,636
固定負債合計	2,411,875	2,459,110
負債合計	4,985,246	5,256,448
純資産の部		
株主資本		
資本金	714,684	714,684
資本剰余金	1,015,908	1,015,908
利益剰余金	248,194	339,787
自己株式	△21,003	△21,003
株主資本合計	1,957,783	2,049,377
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△6,665	△14,200
その他の包括利益累計額合計	△6,665	△14,200
新株予約権	38,579	39,057
非支配株主持分	116,815	116,153
純資産合計	2,106,513	2,190,387
負債純資産合計	7,091,760	7,446,835

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年7月1日 至 2024年9月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年7月1日 至 2025年9月30日）
売上高	3,638,826	4,158,039
売上原価	1,057,286	1,152,403
売上総利益	2,581,540	3,005,636
販売費及び一般管理費	2,463,608	2,740,890
営業利益	117,932	264,745
営業外収益		
受取利息	140	819
その他	4,355	8
営業外収益合計	4,496	827
営業外費用		
支払利息	6,350	10,696
支払手数料	401	970
その他	3,963	4,762
営業外費用合計	10,715	16,430
経常利益	111,713	249,143
特別利益		
子会社清算益	1,283	—
特別利益合計	1,283	—
税金等調整前四半期純利益	112,996	249,143
法人税、住民税及び事業税	18,521	81,702
法人税等調整額	27,846	20,011
法人税等合計	46,368	101,714
四半期純利益	66,628	147,429
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△1,188	△662
親会社株主に帰属する四半期純利益	67,816	148,091

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年7月1日 至 2024年9月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年7月1日 至 2025年9月30日）
四半期純利益	66,628	147,429
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	7,627	△7,535
その他の包括利益合計	7,627	△7,535
四半期包括利益	74,255	139,894
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	73,174	141,615
非支配株主に係る四半期包括利益	1,081	△1,721

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間（自 2024年7月1日 至 2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）
	飲食事業	D X コンサルティング事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,565,444	73,381	3,638,826	—	3,638,826
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	12,954	12,954	△12,954	—
計	3,565,444	86,336	3,651,781	△12,954	3,638,826
セグメント利益又はセ	124,809	△6,877	117,932	—	117,932

（注）セグメント利益又はセグメント損失（△）は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年7月1日 至 2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）
	飲食事業	D X コンサルティング事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,914,151	243,888	4,158,039	—	4,158,039
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	14,212	14,212	△14,212	—
計	3,914,151	258,101	4,172,252	△14,212	4,158,039
セグメント利益	123,071	141,674	264,745	—	264,745

（注）セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	80,205千円	87,232千円
のれんの償却額	3,181千円	3,181千円

（重要な後発事象）

該当事項はありません。